

# 第7回 福島県実践報告会

## — 開催要綱 —

1. 会 期 平成23年11月14日（月）・15日（火）
2. 会 場 ホテル華の湯（磐梯熱海温泉）  
所在地：〒963-1387 福島県郡山市熱海町5丁目8-60  
TEL：024-984-2222
3. テー マ 『絆 ～あなたのあたたかい手～（東日本大震災から学んだこと）』
4. 趣 旨 平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、大津波の発生により東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。また地震の揺れや地盤沈下、液状化現象などにより、北海道・東北・関東の広範囲に渡って建物倒壊やライフラインが寸断された地域も少なくはありませんでした。さらに、東京電力福島第一原子力発電所では、原子炉の冷却機能を失い大量の放射性物質の放出を伴う重大な原子力事故に発展し、周辺一帯の住民は先の見えない避難生活を強いられています。  
震災による死者・行方不明者は2万人以上、建築物の全壊・半壊は合わせて18万戸以上、ピーク時の避難者は40万人以上にも上り未曾有の大震災でありました。  
災害発生に伴い、高齢者や障害者、乳幼児、妊婦など社会的な要援護者の人たちは、心身面で大きなダメージを受けることが多く、避難や避難先などでの2次被害も懸念されておりますが、私たちが関わる認知症の方も例外ではありません。事実、今回も避難所等で亡くなった方は280名を超すと言われております。  
被災地では、個々人の心身における痛みも癒えぬまま、復旧・復興に向けての士気を奮い立たせ、明るい未来図を描きながら動き始めています。反面、福島県には、原発事故の収束を切望しつつ、放射能という見えない恐怖に怯えながら暮らしている多くの住民がいます。  
本大会では、東日本大震災を教訓に、グループホームや地域、そして認知症の方における防災や災害時の対応などについて、講演や実践報告、意見交換会での課題提起などにより「想定外」という状況に陥らないよう、各人の危機管理能力を高め、様々な情報を共有することによって地域ぐるみで支え合う大切さについて学びたいと思います。また、今回見えてきた制度的な課題にも踏み込んでいきたいと考えています。  
被災地である福島県から情報を発信し、グループホームや地域密着型サービス事業者の存在意義を確固たるものにしていきたいと願っています。
5. 後 援 福島県・郡山市・(社)認知症の人と家族の会 福島県支部・東北ブロック認知症グループホーム連合会・青森県認知症グループホーム協会・岩手県認知症高齢者グループホーム協会・秋田県認知症グループホーム連絡協議会・山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会・特定非営利活動法人 宮城県認知症グループホーム協議会・日本認知症ケア学会（一部予定を含む）
6. 定 員 300名（会員優先）

7. 参加費 無料

8. 参加費用 宿泊費 13,000円 (税込み)  
懇親会のみ 8,000円 (税込み)  
昼食代 1,000円 (税込み)

9. 日程

○大会1日目 平成23年11月14日(月)

10:00 11:30 12:30 13:30 15:30 15:45 17:00 18:30

体験発表会	受付	開会	表彰	記念講演	休憩	事例発表会	第一会場 「震災から学んでいること」	終了	情報交換会
						事例発表会	第二会場 「震災による利用者の影響」		

○大会2日目 平成23年11月15日(火)

8:30 9:00 9:30 12:10 12:30

受付	自由討論会	第一会場	ミニ講演会	「災害発生！ 非常事態 における支援のあり方」	総評	閉会
		第二会場				
		ミニ講演会	「災害発生！ 実際対応と 体験から見えてきたこと」			
		ミニ講演会				

10. 内容

■ 1日目

<体験発表会>

東日本大震災、福島第一原発事故に伴い避難された3事業所による、震災時の状況と現状について貴重な体験を話していただきます。

◇グループホームやすらぎの里 (大熊町)

◇グループホーム小高 (南相馬市)

◇ホームズくにみの郷 (南相馬市)

<記念講演>

「東日本大震災に学んだこと」

今回の震災で何が起こったのか。震災時にどのような行動がとられたのか。どのような行動をとることが大切なのか。またその時、認知症に人たちはどうだったのか等の内容です。

講師：社会福祉法人東北福祉会

認知症介護研究・研修仙台センター センター長 加藤 伸司 氏

<事例発表会>

テーマ「震災から学んでいること」「震災による利用者への影響」についての事例発表を第一会場・第二会場にて各3事例行います。質疑応答の時間も設け様々な意見交換を行います。役職・経験を問わず選択して参加いただけます。

## ■ 2 日 目

### <ミニ講演会>

自由討論会のテーマに沿って、永田久美子氏、蓬田隆子氏によるミニ講演会が、各分科会会場にて行われます。

永田 久美子 氏 (認知症介護研究・研修東京センター 研究部副部長)

蓬田 隆子 氏 (東北ブロック認知症グループホーム連合会 会長)

### <自由討論会>

テーマ「災害発生！ 非常事態における支援のあり方」「災害発生！ 実際の対応と体験から見えてきたこと」について、第一会場・第二会場に分かれ、座長を中心に自由討論を行います。役職・経験を問わず選択して参加いただけます。

## ■ 作品展示

メイン会場に作品展示コーナーを設けます。認知症の人が作成した作品および施設での活動・工夫を紹介した写真、広報誌等を展示します。

展示を希望される事業所は、申込書に作品の種類・サイズをご記入ください。作品は、大会当日ご持参ください。

- 1 1. 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、F A Xにて(株)日本旅行東北 福島支店へ申込み願います。
- 11月2日(水)頃までに、参加受付済みの文書を送付いたしますので、料金をご確認のうえ、下記の指定口座へご入金をお願いします。
- 申込内容に変更等生じた場合は、申込書を訂正して、再度F A Xにてお知らせ下さい。
- 代金送金後の取り消し・変更等によって返金が生じた場合は、大会終了後に宿泊約款により返金いたします。

#### 【振込口座】

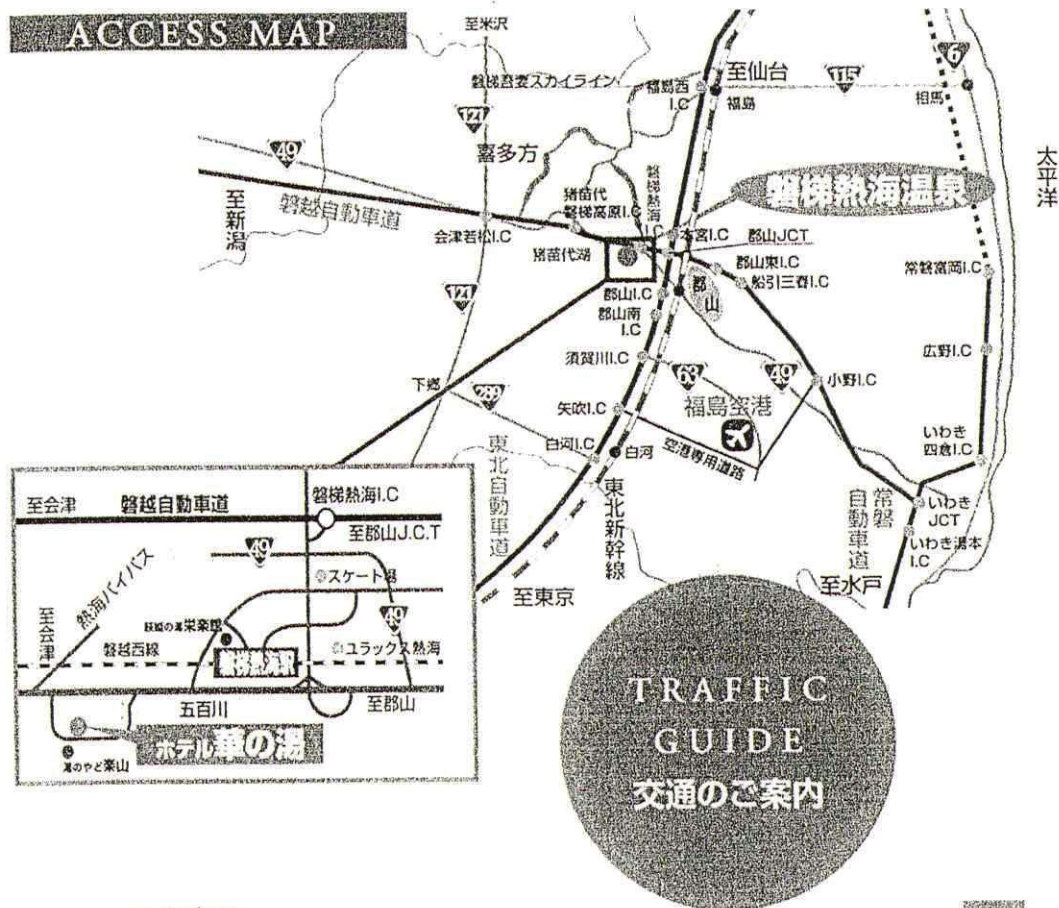
金融機関	みずほ銀行 福島支店
口座番号	普通預金 No.1936401
口座名義	(株)日本旅行東北 福島支店

振込期限：平成23年11月4日(金) ※手数料はご負担願います。

- 1 2. 申込締切 平成23年11月1日(火) 期日厳守でお願い致します。
- 会員優先とし定員になり次第締切とさせていただきますのでご了承願います。
- 1 3. そ の 他 ①昼食(1日目)は、お弁当の注文を受けますので、必要な方は別添の申込書に記入をお願いします。(1ヶ1,000円になります)
- ②職場で使用している名札、もしくは名刺等があればお持ちください。当日ネームプレートとして使用します。(ケースは事務局で準備します)
- ③当日、宿泊される方へ
- ・部屋は相部屋になります。同室を希望される方がいる場合は申込書に記載してください。それ以外は、協議会にて部屋割をさせていただきます。
  - ・喫煙される方は、同室者の方に十分ご配慮いただけますようお願いいたします。
  - ・研修会場へのお荷物の持ち込みは、ご遠慮願います。お部屋への案内は研修会終了後となります。

# ホテル華の湯

〒963-1387 福島県郡山市熱海町5丁目8-60 TEL: 024-984-2222



●お車で

浦和I.C.	140分 東北道	(郡山JCT)	8分 磐越道	磐梯熱海I.C.	5分
仙台宮城I.C.	80分 東北道	(郡山JCT)	8分 磐越道	磐梯熱海I.C.	5分
新潟JCT	100分 磐越道			磐梯熱海I.C.	5分
三郷I.C.	120分 常磐道	(いわきJCT)	60分 磐越道	(郡山JCT)	8分 磐越道
				磐梯熱海I.C.	5分

●電車で

東京	新幹線75分	郡山駅	快速14分	磐梯熱海駅	タクシーで3分
仙台	新幹線45分	郡山駅		磐梯熱海駅	タクシーで30分

●福島空港からタクシー・バスで

福島空港	40分	タクシー	
福島空港	45分	バス	30分 タクシー

ホテル華の湯

# 大会プログラム(案)

	時 間	次 第	
大会一日目 平成二十三年十一月十四日(月)	10:00	体験発表会 受付	
	10:30 ～ 11:30	東日本大震災の避難事業所による体験発表会 ◇グループホームやすらぎの里 (大熊町) ◇グループホーム小高 (南相馬市) ◇ホームズくにみの郷 (南相馬市)	
	11:45	大会 受付	
	12:30 ～ 13:20	開 会 式 開会挨拶 NPO 法人福島県認知症グループホーム協議会 研修員長 越中八末代 会長挨拶 NPO 法人福島県認知症グループホーム協議会 会 長 森 重勝 来賓挨拶 福島県保健福祉部介護保険室 室 長 小野 保順 氏 郡 山 市 長 原 正夫 氏 公益社団法人 認知症の人と家族の会 福島県支部 代表世話人 佐藤 和子 氏 来賓紹介 表 彰	
	13:30	記 念 講 演 I 「 東日本大震災に学んだこと 」 社会福祉法人東北福社会 認知症介護研究・研修仙台センター センター長 加藤 伸 司 氏	
	15:30	休 憩 (15分)	
	15:45	事 例 発 表 会	
		【 第Ⅰ分科会 】 <span style="margin-left: 200px;">【 第Ⅱ分科会 】</span>	
	15:50	○テーマ 「震災から学んでいること」	○テーマ 「震災による利用者の影響」
		≪座 長≫ す ず ら ん 理事長 今野 秀吉 氏	≪座 長≫ か り ん 管理者 片山 玲子 氏
	16:10	フクチャンち 県北 成田 絹子 氏	シニアガーデン 浜北 鈴木 洋子 氏
		「 調 整 中 」	「 調 整 中 」
	16:30	大 地 の 家 いわき 上面 公美 氏	芝 桜 県南 折内美也子 氏
		「 調 整 中 」	「 調 整 中 」
	16:50	ふ な お か 宮城県 加茂 潤子 氏	人 来 田 の 風 宮城県 芳賀加奈子 氏
「 調 整 中 」		「 調 整 中 」	
17:00	まとめ	まとめ	
17:00	事務連絡・終了	事務連絡・終了	
18:30	情 報 交 換 会		

大会二日目  
平成二十三年十一月十五日（火）

8:30	自由討論会 受付	
9:00	自由討論会	
9:05	<p>【第Ⅰ分科会】</p> <p>○テーマ 「災害発生！ 非常事態における支援のあり方」 〔ミニ講演会〕 認知症介護研究・研修東京センター 研究部副部長 永田 久美子 氏</p>	<p>【第Ⅱ分科会】</p> <p>○テーマ 「災害発生！ 実際の対応と体験から見えてきたこと」 〔ミニ講演会〕 東北ブロック認知症グループホーム連合会 会長 蓬田 隆子 氏</p>
9:30	<p>《座長》 すずらん日向 管理者 橋本 好博 氏 《助言者》 認知症介護研究・研修東京センター 研究部副部長 永田 久美子 氏</p>	<p>《座長》 トモ・ハウス 管理者 柳内 英俊 氏 《助言者》 東北ブロック認知症グループホーム連合会 会長 蓬田 隆子 氏</p>
	<p>《討論者》 あったかいご方木田 県北 榎 育代 氏 あけぼの 会津 山田みき子 氏 南部山さきおりの家 青森県 坂本 直樹 氏 花みづき 秋田県 高橋 祐策 氏 やまゆり 山形県 高橋 直樹 氏</p>	<p>《討論者》 みやま 県中 山口 信 氏 田園 浜北 唯野 真己 氏 我が家 いわき 鈴木 英満 氏 すずらん 県南 菅野 道代 氏 桜の家 宮城県 内海 裕 氏</p>
12:00	休憩・会場整理	
12:10	閉会式	
	総評	NPO 法人福島県認知症グループホーム協議会 会長 森 重勝
	閉会挨拶	NPO 法人福島県認知症グループホーム協議会 運営委員 佐藤 卓也
12:30	閉会	

『作品展示コーナー』

『図書販売コーナー』

を開設しています。どうぞ自由にご覧ください。

大会1日目（14日） 11:00～18:00

大会2日目（15日） 9:00～12:00

場所：メイン会場  
受付周辺

FAX送信: 024-522-3168 【送付状不要】

申込期限 平成23年11月1日(火)

(株)日本旅行東北 福島支店 宛て TEL:024-522-6163

お申込日 平成23年 月 日

事務局使用欄

受付NO

受付月日

NPO法人福島県認知症グループホーム協議会

## 第7回 福島県実践報告会 (参加・宿泊・情報交換会等) 申込書

県名 施設名

【他県用】

住所 〒 担当者

作品展示 作品の種類 サイズ

TEL FAX

開催日: 平成23年11月14日(月)~15日(火)

NO	職名	氏名	性別	GHでの勤続年数	会員	参加日		体験発表会(1日目)	分科会		宿泊(情報交換会含む)	情報交換会	昼食(14日)	合計	同室希望者名
						1日目	2日目		事例発表会	自由討論会					
例	管理者	福島 花子	女	3年		○	○	○	①・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ	○		○	14,000円	郡山 梅子
1									Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ					
2									Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ					
3									Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ					
4									Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ					
合		計													

※記載された個人情報、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。

申込期限: 11月4日(金)

※手数料はご負担願います。

### 【申し込み方法】

- \* 宿泊等の申込は必要事項を記入の上、該当欄に○印をつけてください。
- \* 事例発表会・自由討論会は、会場の都合上調節させていただく場合がございます。

### 【事務局】

NPO法人福島県認知症グループホーム協議会  
担当 久保田・大内 TEL 024-567-5800